SHARP®

パーソナルコンピュータ

PC-NJ80B
PC-NJ70B

トラブル解決ガイド

この説明書に記載している操作には、パソコンの電源を切った状態でするものがあります。
必要に応じて、説明書を印刷してお使いください。

もくじ

この説明書の読み方

■ 使用している記号について

ご注意	この製品や周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
ご参考	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

■ 表記ルールについて

『取扱説明書』（付属の冊子）	冊子の説明書を示します。
『活用ガイド』（PDF）	電子マニュアルの他の説明書を示します。
【　】	キーボードのキーを押す操作では、キーを【　】で囲んでいます。 また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「＋」でつないで表記しています。 例）**【Fn】**＋**【F7】**（▲☼）
［　］	画面に表示されるボタンなどは、［　］で囲んで表記しています。 例）［OK］をクリックします。
「　」	メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。 例）「コントロールパネル」をクリックします。

■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やこの製品の状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

■ 記載内容について

- 本書に記載している情報は、この説明書の制作時点のものです。
お問い合わせ先の電話番号や受付時間、ホームページの URL や記載内容、メールアドレス、および各種サービスなどの内容は変更されている場合があります。
- 本書では、機種によって操作が異なる場合、対応する機種名を明記しています。お使いの機種の説明をお読みください。

■ 商標、登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、Windows Live、Office ロゴ、Outlook、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Memory stick、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロは、ソニー株式会社の商標です。
- xD-Picture Card および xD- ピクチャーカードは、富士フイルム株式会社の商標です。
- Adobe、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

■ ソフトウェア名などの略称表記について

本書では、ソフトウェア名･製品名を下記のように表記しています。

本書での表記	正式名称
Windows **Windows 7**	Windows® 7 Starter for Small Notebook PCs 正規版
Windows Vista	Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1(SP1)
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 3 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 3
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007
Excel 2007	Microsoft® Office Excel® 2007
Word 2007	Microsoft® Office Word 2007
Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
IME 2007	Microsoft® Office IME 2007
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003
Excel 2003	Microsoft® Office Excel® 2003
Word 2003	Microsoft® Office Word 2003
Internet Explorer 8 **Internet Explorer**	Windows® Internet Explorer® 8
Internet Explorer 7 **Internet Explorer**	Windows® Internet Explorer® 7

大切なお知らせ

文字の表示と印刷について

Windows Vista および Windows 7 では、最新の JIS 漢字「JIS X 0213:2004」に対応した日本語フォントが採用されており、Windows XP 以前の Windows と比べて使用できる文字が増え、一部の文字においては字体が変わりました。
このため、次の場合、新しく増えた文字が表示（印刷）されなかったり、一部の文字において字体が異なったりすることがあります。

・Windows Vista ／ Windows 7 で作成した文書を Windows XP などで表示したとき
・Windows Vista ／ Windows 7 で作成した文書を「JIS X 0213:2004」非対応のプリンター搭載フォントを使用して印刷したとき
・Windows XP などで作成した文書を Windows Vista ／ Windows 7 で表示したとき

詳しくは、下記のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx

万一に備えてリカバリー DVD を作成しましょう

パソコンにトラブルが発生したときに、解決の方法のひとつとして再インストールがあります。通常は、ハードディスクに保存されているデータを使って再インストールしますが、ハードディスクが故障したり、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが壊れたりしたときは、再インストールできなくなってしまいます。そのような場合に備えて、**Windows セットアップ完了後、早い段階でリカバリー DVD を作成しておいてください。**

- 「リカバリー DVD の作成」（☞59 ページ）
- 「再インストール（ご購入時の状態に戻す）」（☞62 ページ）

ご参考

- **市販のソフトウェアインストール時のご注意**
  市販のバックアップ、リカバリー、パーティション変更を目的としたソフトウェアをインストールした場合は、MBR※が書き換わってしまうため、リカバリー DVD が作成できない、ハードディスクから再インストールできないなどのトラブルが発生しますのでご注意ください。
  ※ MBR（マスターブートレコード）とは、パソコン起動時に最初に読込まれる部分（セクター）のことで、ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています。

バックアップをとる習慣をつけましょう

お客様が送受信した電子メールや作成した文書、インターネットからダウンロードした画像など、データはあっという間に増えていきます。しかし、パソコンを使用していると、うっかり大切なデータを削除してしまったり、パソコンの調子が悪くなったりして、データを取り出せなくなってしまうことがあります。
データを取り出せなくなってしまう前に、大切なデータは、こまめにメモリーカードや USB メモリー、または外付けハードディスクなどの記録媒体に保存（バックアップ）しましょう。

バックアップの方法については、『**活用ガイド**』（PDF）の「**データのバックアップ**」やソフトウェアのヘルプを参照してください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンの中のハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作を行う
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化（フォーマット）する
- ・再インストールして、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。

従いまして、市販のデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) を利用するか、廃棄の場合はハードディスクを金槌で物理的に破壊したり、ハードディスク内のデータを強い磁気により破壊することを推奨します。

本件に関して詳細は、お客様サポートセンター（☞『**取扱説明書**』（付属の冊子））またはパソコンを購入された販売店にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

また、本機の廃棄方法については、『**活用ガイド**』（PDF）の **「パソコンのリサイクルご協力のお願い」** を参照してください。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

Q&A

起動

Q 「Operating System not found」と表示されて Windows が起動しない

A① セットアップユーティリティの設定を初期値に戻してください

1. パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに**【F2】**を押す。
   セットアップユーティリティの画面が表示されます。
2. **【F9】**を押す。
3. 「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
4. **【F10】**を押す。
   「Save configuration changes and exit now?」(設定を保存して終了しますか？）と表示されます。
5. [Yes]が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
   パソコンが再起動します。正しくパソコンが起動するか確認してください。

A② A1 の操作をしてもパソコンが正しく起動しない場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください

パソコンの再インストールをするときには、電源ボタンを押していったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れます。このとき、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されているかどうか確認してください。

「Press F4 to Recover」と表示されているとき：ハードディスクから再インストールできます。
「Press F4 to Recover」と表示されていないとき：ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが削除されていますので、リカバリ DVD から再インストールしてください。

再インストールについては、**「再インストール（ご購入時の状態に戻す）」**（☞62 ページ）を参照してください。

Q 「READ SECTOR BOOT ERROR」、「MISSING OPERATING SYSTEM」、「Missing operating system」、または「Error loading operating system」と表示される

A① ハードディスク全体を再インストールしてください

再インストールを中断または失敗したときにパソコンを起動すると、これらのメッセージが表示されます。このような場合は、ハードディスク全体の再インストールが必要です。
メッセージが出た状態からパソコンの再インストールをするには、電源ボタンを押してパソコンの電源を切り、再度電源を入れます。このとき、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されているか確認してください。

「Press F4 to Recover」と表示されているとき　：ハードディスクから再インストールできます。
「Press F4 to Recover」と表示されていないとき：ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが削除されていますので、リカバリ DVD から再インストールしてください。

再インストールについては、**「再インストール（ご購入時の状態に戻す）」**（☞62 ページ）を参照してください。

画面表示

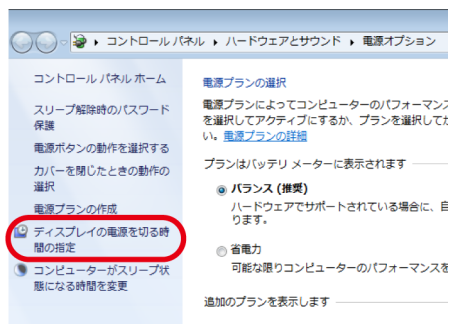
Q パソコンをしばらく使わないと、画面が真っ暗になる

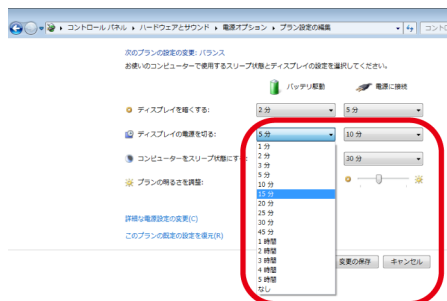
A① キーボードのキーまたは電源ボタンを押してください

ご購入時の設定では、パソコンを操作しない状態が続くと、ディスプレイの電源が自動的に切れるため、画面は真っ暗になります。ディスプレイの電源が切れてからさらに一定時間操作しない状態が続くと、スリープに移行します。
画面が真っ暗になったときは、キーボードのいずれかのキーを押すか、電源ボタンを押してみてください。

ディスプレイの電源が切れるまでの時間やスリープに移るまでの時間は変更できます。以下の手順で、設定を変更してください。

1 タスクバーの電源アイコンをクリックし、「その他の電源オプション」をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。

2 画面左側の「ディスプレイの電源を切る時間の指定」をクリックする。

「プラン設定の編集」画面が表示されます。

3 「ディスプレイの電源を切る」欄、または「コンピューターをスリープ状態にする」欄の時間を変更し、[変更の保存]をクリックする。

バッテリー駆動時と電源に接続時のそれぞれで、ディスプレイの電源を切るまでの時間とスリープに移行するまでの時間を変更できます。

4 をクリックして「電源オプション」画面を閉じる。

ご参考

- 「プラン設定の編集」画面では、ディスプレイの電源を切る時間のほかに、ディスプレイを暗くするまでの時間やバッテリー駆動時と電源接続時の画面の明るさを設定できます。

A② **バッテリー切れになっていないか確認してください**

AC アダプターを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリーパックから供給されます。バッテリー低下の警告が表示されてもそのまま使い続けていると、電源が切れてしまいます。
AC アダプターを接続してから、再度パソコンの電源を入れてください。

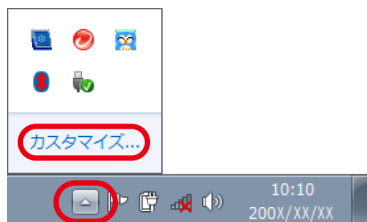
Q タスクバーの通知領域にあるはずのアイコンが見当たらない

A① **タスクバーの をクリックします**

非表示になっているアイコンは、 をクリックすると表示されます。

A② **アイコンを常に表示する設定に変更できます**

通知領域のアイコンを、常に表示しておきたいときは、以下の手順で設定します。

1 通知領域の をクリックし、「カスタマイズ」をクリックする。

「通知領域アイコン」画面が表示されます。

2 通知領域に常に表示したいアイコンの をクリックし、「アイコンと通知を表示」をクリックする。

3 [OK] をクリックする。

Q 画面のボタンが表示されない／画面の下部が表示されない

A キーボードのキーで画面表示の向きを変えてから操作してください

① ウィンドウが大きすぎて画面からはみ出してしまった場合は、以下のキー操作で表示の向きを回転させて操作してください。

【Ctrl】＋【Alt】＋【→】：画面表示が時計回りに 90 度回転します。
【Ctrl】＋【Alt】＋【←】：画面表示が反時計回りに 90 度回転します。
元の画面表示に戻すには、**【Ctrl】＋【Alt】＋【↑】**を押します。

Q 壁紙が変更できない

A 壁紙を変えることはできません

① このパソコンには「Windows 7 Starter」が搭載されています。「Windows 7 Starter」では、壁紙を変更することができません。ご購入時の状態でお使いください。

ご参考

- 液晶パッドの壁紙は変更することができます。
  ① （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
  ②「背景」タブをクリックし、背景画像欄の ▼ をクリックして、壁紙にしたいテーマをクリックする。
  壁紙を自分の好きな画像にしたいときは「ファイル選択」をクリックし、［画像参照］をクリックし、画像ファイルを選んで［開く］をクリックします。
  ③［OK］をクリックする。

Q 画面が明るすぎる／画面が暗い

A ディスプレイの明るさはキーボードのキーを使って調整します

① ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。
明るさを変えるには、**【Fn】**を押しながらファンクションキーの**【F6】**（▼☼）、**【F7】**（▲☼）または**【F8】**（☼）を押して、調節します。

【Fn】＋【F6】（▲☼）：ディスプレイを暗くします。
【Fn】＋【F7】（▲☼）：ディスプレイを明るくします。
【Fn】＋【F8】（☼）：最大の明るさにします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

A② バッテリー駆動時と AC アダプター接続時ではメイン画面の明るさが異なります

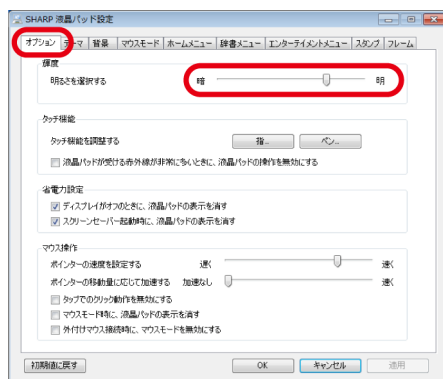
ご購入時の設定では、AC アダプターを取り外し、バッテリー駆動に切り替えると、画面は AC アダプター接続時より暗くなります。
また、一定時間操作しない状態が続いたときも、ディスプレイが暗くなります。

ご参考

- バッテリー駆動時／ AC アダプター接続時の画面の明るさやディスプレイが暗くなるまでの時間は、「電源オプション」の「プラン設定の編集」画面で変更できます。「電源オプション」の「プラン設定の編集」については、**「パソコンをしばらく使わないと、画面が真っ暗になる」**（☞10 ページ）を参照してください。

A③ 液晶パッドの明るさを変更したいときは

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」−「SHARP 液晶パッド設定」−「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「輝度」欄のつまみを左右にドラッグして明るさを調整する。

3 [OK] をクリックする。

Q タスクバーに が表示されている

A① アクションセンターにメッセージがあることを知らせるアイコンです

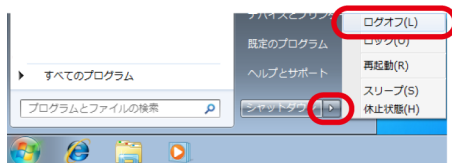
Windows では、パソコンの状態を判断して、新しい更新プログラムがあったり、セキュリティに問題があったりする場合にポップアップでメッセージが表示されますが、Windows 7 では、ポップアップメッセージが閉じた後も、こうしたメッセージがあることを「アクションセンター」のアイコン で知らせます。
をクリックし、「アクションセンターを開く」をクリックすると、詳細な内容が確認できます。

Q 「ユーザーの切り替え」メニューが見当たらない

A① ユーザーを切り替えるときは、いったんログオフしてください

このパソコンには Windows 7 Starter が搭載されています。Windows 7 Starter では、ログオンしたまま別のユーザーアカウントにログオンできないため、「ユーザーの切り替え」メニューは表示されません。いったんログオフして、使用したいユーザーアカウントでログオンし直します。

ご参考

- ログオフするには、（スタート）をクリックし、シャットダウンボタン右横の をクリックし、「ログオフ」をクリックします。

電源・省電力・バッテリー

Q バッテリー残量表示と実際の操作時間に差がある

A① バッテリーの残量表示と実際の操作時間には誤差が生じることがあります

バッテリーの残量は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので、目安としてお使いください。
また、電源を入れた直後や AC アダプターを抜き差ししてすぐは、残量が正しく表示されないことがあります。

A② バッテリーパックを初期化してください

バッテリーの残量表示と実際の使用時間との差が大きくなったときは、以下の手順でバッテリパックを初期化してください。

1. シャットダウンでパソコンの電源を切る。
2. AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。
   満充電になると （バッテリー状態）ランプが緑色に点灯します。
3. パソコンの電源を入れる。
4. 「Pass F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、**【F2】**を押す。
   セットアップユーティリティ画面が表示されます。
5. **【Fn】**＋**【F8】**（ ☼ ）を押して画面の明るさを最大にする。
6. AC アダプターを外してバッテリーの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置する。
7. AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。
   ランプが緑色に点灯するまでパソコンの電源は入れないでください。

Q バッテリーの使用時間が以前より短くなった／バッテリーの充電に時間がかかる

A① バッテリーパックを初期化してください

「バッテリ残量表示と実際の操作時間に差がある」の **A2**（☞ 上記）を参照して、バッテリーパックを初期化してください。

A② 新しいバッテリーパックに交換してください

バッテリーパックは消耗品です。初期化しても極端に使用時間が短くなったり、満充電になるまでの時間を越えてもオレンジ色の点灯がずっと続くなど充電に非常に時間がかかったりするときは、バッテリーが劣化している可能性があります。新しいバッテリーパックを購入し、交換してください。
新しいバッテリーパックを購入されるときは、CE-BL59(別売品)を購入してください。バッテリーパックの交換方法については、『**活用ガイド**』（PDF）の **「電源・省電力・バッテリー」**－**「バッテリーパックを交換する」** を参照してください。

Q 使用しないときは AC アダプターを抜き、バッテリーパックを取り外した方がいい ?

A① 短期間なら取り付けたままの状態で大丈夫です

短期間であれば、AC アダプターを抜いたり、バッテリーパックを取り外したりする必要はありません。

A② 長期間使用しない場合はパソコンからバッテリーパックを取り外して保管してください

おおよその目安として約 1 ヶ月以上使用しない場合は、50%程度の充電をして、パソコンからバッテリーパックを取り外し、直射日光の当たらない、涼しい場所で保管しておかれることをお勧めします。
取り外したバッテリーパックは、過放電を防止するために、約半年に一回くらいの割合で、50%程度の充電をしてください。
なお、過放電状態になったバッテリーパックは使用できません。

ご参考

- バッテリーパックを取り外すときには、シャットダウンでパソコンの電源を切り、パソコンから AC アダプターを取り外してください。バッテリーパックの取り外し方法については、『**活用ガイド**』（PDF）の **「電源・省電力・バッテリー」** － **「バッテリーパックを交換する」** を参照してください。

Q 充電できない／ AC アダプターを接続しても （バッテリー状態）ランプが点灯しない

A① バッテリーパックが正しく装着されているか確認してください

A② 消費電力が大きくなったときに、充電が開始されなかったり、一時的に充電が中止されたりすることがあります

パソコンを使用中、CPU が多くの処理をしているときや周辺機器を使ったために電力消費が大きくなった場合に、充電が開始されなかったり、充電が一時中止され、（バッテリー状態）ランプが消えたりすることがありますが、故障ではありません。

A③ バッテリーパックの温度が高温または低温になったときに、充電が開始されなかったり、一時的に充電が中止されたりすることがあります

バッテリーパックの温度が高温または低温になった場合には、安全のため、充電が開始されなかったり、充電が一時中止され、（バッテリー状態）ランプが消えたりすることがありますが、故障ではありません。

A④ いったんバッテリーパックを取り外し、再度取り付けて充電できるか確認してください

充電しても、（バッテリー状態）ランプが点灯しない場合やオレンジ色に点滅し始めたときは、いったんパソコンの電源を切り、AC アダプターとバッテリーパックを取り外します。その後 10 秒以上待ってからバッテリーパックを装着し直し、再度 AC アダプターを接続してみてください。
それでも、充電が開始されない場合やオレンジ色の点滅が続くときは、バッテリーパックの寿命、劣化、故障、またはパソコンの故障が考えられます。
『**取扱説明書**』（付属の冊子）の**「サポートのご案内」**を参照して、点検を依頼してください。

Q バッテリー駆動でパソコンが使えない

A① バッテリーパックが正しく装着されているか、バッテリー残量は十分あるか確認してください

バッテリーの装着／バッテリー残量の確認のしかたについては、『**活用ガイド**』の**「電源・省電力・バッテリー」**を参照してください。

A② いったんバッテリーパックを取り外し、再度取り付けて充電できるか確認してください

充電を開始しても、（バッテリー状態）ランプが点灯しない場合やランプがオレンジ色に点滅し始めたときは、いったんパソコンの電源を切り、AC アダプターとバッテリーパックを取り外します。その後、10 秒以上待ってからバッテリーパックを装着し、再度 AC アダプターを接続してみてください。
それでも充電が開始されない場合やオレンジ色の点滅が続くときは、バッテリーパックの寿命、劣化、故障、またはパソコンの故障が考えられます。『**取扱説明書**』（付属の冊子）の**「サポートのご案内」**を参照して点検を依頼してください。

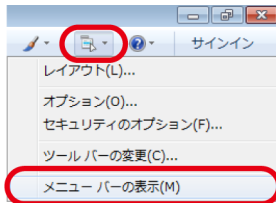
「Windows Live メール」のメニューバーが見当たらない

PC-NJ70B

A【Alt】を押すと表示されます

①「Windows Live メール」では、「Microsoft Outlook Express」や「Windows メール」の画面上部にあったメニューバーが表示されていません。
「ファイル」や「ツール」などのメニューは、**【Alt】**を押すと表示されます。

ご参考

- メニューバーを常に表示させるには、 をクリックし、「メニューバーの表示」をクリックします。

メールを送受信できない

A 電子メールソフトの設定を確認してください

①メールソフトの設定を確認するときは、プロバイダーから送られてきた資料を参照して、以下の設定情報をお手元にご用意ください。

・サーバー情報（送受信メールサーバーのアドレス）
・ユーザー名（アカウント名）
・パスワード

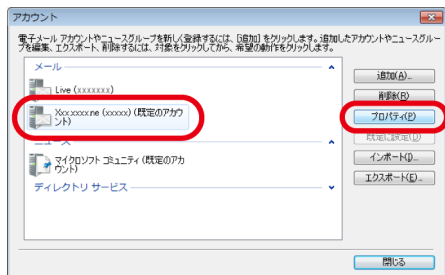
プロバイダーによっては、セキュリティ対策のため、その他の設定が必要な場合があります。詳しくはプロバイダーの資料やホームページを確認してください。

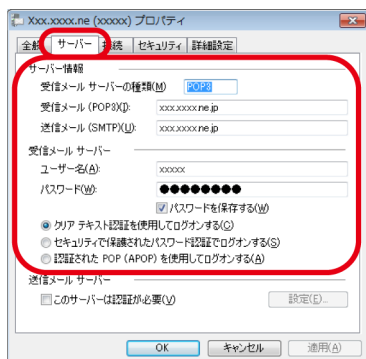
PC-NJ70B

次の手順で「Windows Live メール」の設定を確認します。

1 「Windows Live メール」を起動し、**【Alt】**を押す。
画面上部にメニューバーが表示されます。

2 「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックする。
「アカウント」画面が表示されます。

3 設定を確認したいメールアカウントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

4 「サーバー」タブをクリックし、プロバイダーの設定案内と入力した内容が合っているか確認する。

「サーバー情報」の各メールサーバーアドレス、「受信メールサーバー」のユーザー名を確認し、必要に応じてパスワードを入力し直します。

5 [OK]をクリックする。

6 [閉じる]をクリックする。

PC-NJ80B

次の手順で「Outlook 2007」の設定を確認します。

1 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ツール」をクリックし、「アカウント設定」をクリックする。

「アカウント設定」画面が表示されます。

2 設定を確認したいメールアカウントをクリックし、[変更]をクリックする。

「メールアカウントの変更」画面が表示されます。

3 プロバイダーの設定案内と入力した内容が合っているか確認する。

「サーバー情報」の各メールサーバーアドレス、「メールサーバー」のアカウント名を確認し、必要に応じてパスワードを入力し直します。

4 [次へ]をクリックする。

5 [完了]をクリックする。

6 [閉じる]をクリックする。

A② プロバイダーのメールサーバーの状態によって、一時的にメールを送信できないことがあります

メールサーバーの障害や保守点検のため、メールを一時的に送信できないことがあります。時間をおいて接続してみてください。
メールサーバーの障害やメンテナンスの情報は、プロバイダーのホームページで確認してください。

A③ メールを送信する前に、メールを受信する操作を行わなければならないプロバイダーもあります

プロバイダーや無料メールサービスによっては、メールの悪用を防ぐため、メールを送信する前にメールを受信しなければならない場合があります。
送信したいメールを書き終わったら、一度メールを受信してからメールを送信するようにしてください。

Q 受信したメールが文字化けしている

A① 受信メールに半角のカタカナや特殊記号が使われている可能性があります

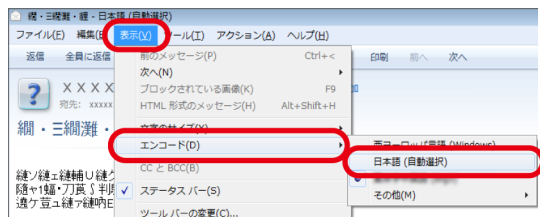
半角のカタカナや特殊記号（丸付き数字や罫線文字など）が受信メールに含まれていると、文字化けの原因になることがあります。メールの送信元に半角のカタカナや特殊記号を使用されていないか確認を依頼してください。

受信したメールのエンコード（表示文字コード）を確認してください

「エンコード」を「日本語（自動選択）」に設定すると正しく表示できることがあります。

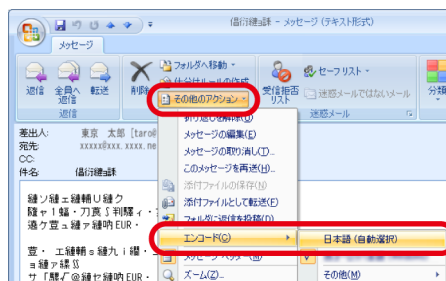
PC-NJ70B

1 「Windows Live メール」を起動し、文字化けが起きている受信メールを開く。

2 **【Alt】**を押し、メニューバーの「表示」をクリックし、「エンコード」－「日本語（自動選択）」をクリックする。

メールの文字が正しく表示されるか確認してください。

PC-NJ80B

1 「Outlook 2007」を起動し、文字化けが起きている受信メールを開く。

2 画面上部にある「その他のアクション」をクリックし、「エンコード」－「日本語（自動選択）」をクリックする。

メールの文字が正しく表示されるか確認してください。

ご参考

- エンコードを変更して文字が正しく表示された場合、メールの送信元にメールソフトの文字コードの設定の確認を依頼してください。

送られてきたメールが迷惑メール（スパムメール）の可能性があります

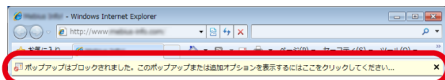
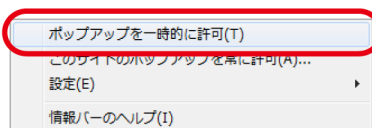
文字化けではなく、日本語以外の言語で書かれた迷惑メール（スパムメール）の可能性があります。差出人名に覚えがないメールには返信したり問い合わせしたりせずに、削除することをお勧めします。

ホームページ

Q 「ポップアップはブロックされました。...」というメッセージが表示された

A① 「Internet Explorer」で、別ウィンドウで表示される広告などを表示しないよう制限する機能が働いていることを知らせるメッセージです

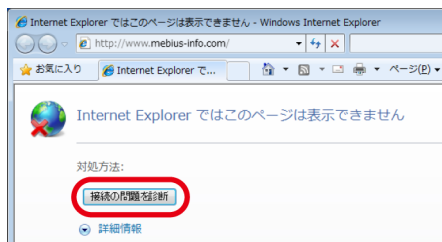
表示制限されているウィンドウやホームページは、ポップアップを許可すると表示させることができます。

1 表示されているメッセージをクリックする。

2 「ポップアップを一時的に許可」をクリックする。

ご参考

- 手順 **2** で、「このサイトのポップアップを常に許可」をクリックすると、許可されたサイトは、次回からブロックされることなく表示されます。

Q 「Internet Explorer ではこのページは表示できません」というメッセージが表示された

A① [接続の問題を診断] をクリックします

1 メッセージ画面の[接続の問題を診断]をクリックする。

「Windows ネットワーク診断」画面が表示されます。

2 表示された診断結果のメッセージを確認し、以降は画面の指示に従って操作する。
診断の結果、画面には接続トラブルの原因や解決方法、ヒントなどが表示されます。
画面の内容を読んで、必要な操作や対処方法を実行してください。

3 「Windows ネットワーク診断」画面に「トラブルシューティングは正常に完了しました」と表示されたときは、[閉じる]をクリックする。

A② パソコンを再起動してください
パソコンを再起動することで接続できるようになる場合もあります。

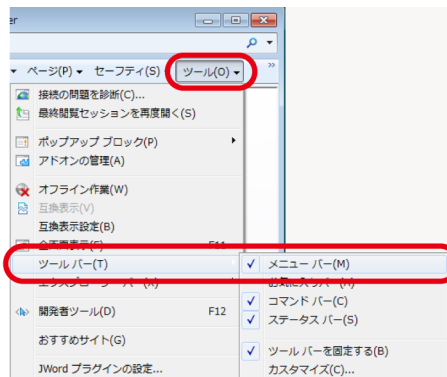
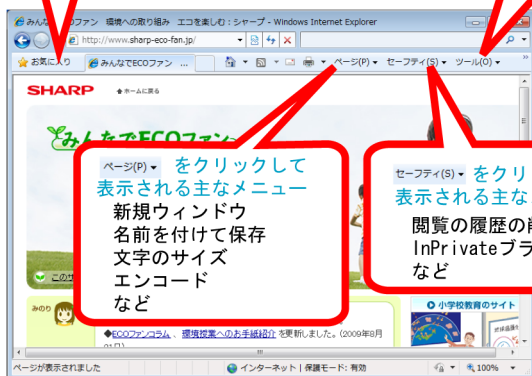
A③ 時間をおいてもう一度接続し直してください
回線やサーバーの故障・工事・メンテナンスなども考えられます。時間を置いて接続するとつながることもあります。

A④ 該当ページが存在しない場合があります
ホームページが閉鎖されたり移転している場合、そのページは表示されません。

Q 「Internet Explorer」の「ファイル」メニューが見当たらない

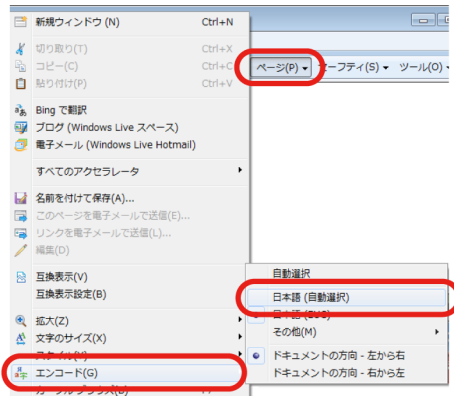
A① 【Alt】を押すと表示されます
ご購入時の設定では、「Internet Explorer」のメニューバーは非表示になっています。「ファイル」メニューなどを表示するには**【Alt】**を押します。

ご参考

- メニューバーを常に表示するには、ツールバーの「ツール」をクリックし、「ツールバー」－「メニューバー」をクリックしてチェックマークを付けます。

● メニューバーの「ファイル」、「表示」、「ツール」にある主なメニューは、ツールバーの「ページ」、「セーフティ」、「ツール」などから選択できます。

ホームページが文字化けしている

A エンコード（表示文字コード）を変更してみてください

① ホームページを閲覧しているときに、画像などが正しく表示されるのに文字化けが起こる場合には、表示文字コードの設定を変更すると正しく表示できることがあります。

1 文字化けが起こっているホームページで「Internet Explorer」のツールバーの「ページ」をクリックし、「エンコード」－「日本語（自動選択）」をクリックする。

「エンコード」のメニューの中には、「日本語（自動選択）」と「自動選択」があります。「エンコード」を変更するときに、間違って「自動選択」を選ばないようにご注意ください。文字化けが起こる原因になります。

ご参考

- ホームページの提供元で特殊なフォントを使用している場合など、ホームページによっては表示文字コードを変更しても正しく表示されないことがあります。

インターネット接続

ワイヤレス LAN でインターネットに接続できない

A① まずは何が原因かを確かめましょう

トラブルの原因によって、対処のしかたが異なります。まず、図に従って、接続できない原因を確認してください。図では主な原因と対処法（参照先）を示しています。

スタート

パソコンの設定を調べる

ワイヤレス LAN 状態ランプ は？

点灯していない

点灯している

A2へ

【Fn】+【F1】を押す <ランプ点灯>

タスクバーのネットワークアイコン をクリック

接続するネットワーク名（SSID）は？

表示されている

表示されていない

わからない

再確認

お使いのアクセスポイントの設定を調べる

セキュリティ設定は？

わからない

設定なし

設定あり

ステルス機能は？

わからない

設定なし

設定あり

A3へ

・アクセスポイントの電源を入れる
・ケーブル類を接続し直す

A5へ

ネットワークを手動で設定 ※

パソコンで設定する

ネットワーク名をクリックして［接続］をクリック

ネットワーク名をクリックして［接続］をクリック

A4へ

アクセスポイントに設定したネットワークキー（セキュリティキー）を入力

設定内容がわからないときは

・すでに接続できているパソコンからアクセスポイントの設定内容を調べる
・アクセスポイントの説明書を確認する
・アクセスポイントのメーカーに調べ方を問い合わせる
・アクセスポイントの設定サービスを受けた場合は、販売店やプロバイダーに問い合わせる

この対処法で解決しないときは、**A6** ～ **A10** をお試しください。

A② ワイヤレス LAN 状態ランプが点灯しているか確認してください

ワイヤレス LAN 状態ランプが消えているときは、内蔵のワイヤレス LAN アンテナが無効になっています。アンテナを有効にするには、**【Fn】**＋**【F1】**（ ）を押します。ワイヤレス LAN のアンテナが有効になると、ワイヤレス LAN 状態ランプが点灯します。

ワイヤレス LAN 状態ランプの位置については、『**取扱説明書**』（付属の冊子）を参照してください。

A③ ブロードバンドモデムとワイヤレス LAN アクセスポイントが正しく接続され、それぞれの機器に電源が入っているか確認してください

インターネットに接続するには、アクセスポイントとブロードバンドモデムといった機器が必要です。パソコンでインターネット接続の設定をする前に、必要な機器の接続と設定ができているか確認してください。

また、それぞれの機器のランプで、機器に電源が入って正しく動作していることを確認してください。

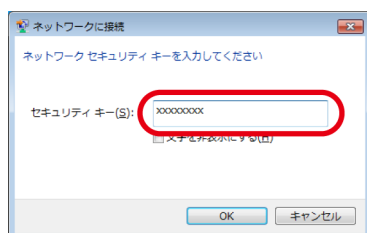
ご参考

● **ワイヤレス LAN でインターネットに接続するときに必要な機器**

機　器	使うための接続・設定
ブロードバンドモデム **ADSL モデム** **ケーブルモデム など** ※接続するインターネット回線やプロバイダーによって異なります	プロバイダーの資料を参照して、機器の接続や設定をします。
アクセスポイント **ワイヤレス LAN アクセスポイント** **ワイヤレスブロードバンドルーター**	アクセスポイントの説明書を参照してブロードバンドモデムとの接続や設定をします。セキュリティ関係の設定もアクセスポイント側でまず設定します。

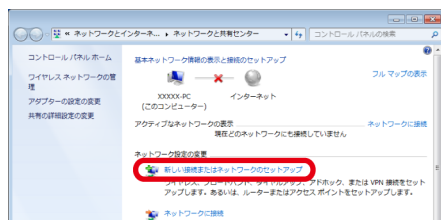
A④ セキュリティキーを正しく入力してください

「ネットワークに接続」画面の「セキュリティキー」入力欄にセキュリティキーが正しく入力されないと、「キーまたはパスフレーズが正しくありません」というメッセージが表示され、ネットワークに接続できません。

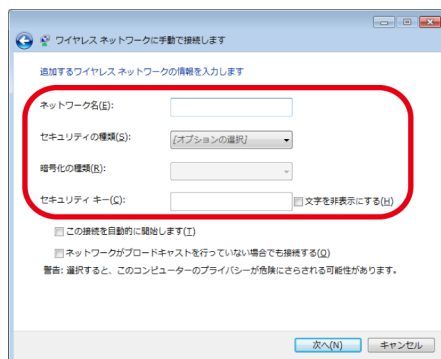
「セキュリティキー」入力欄には、アクセスポイントに設定したネットワークキーと同じものを入力します。

A⑤ ネットワーク一覧にネットワーク名が表示されていない場合は、ネットワークを手動で設定してください

ネットワーク一覧にお使いのアクセスポイントの SSID(ネットワーク名) が表示されていないときは、アクセスポイントのステルス機能（SSID を外部から見えないように隠す機能）が有効になっている可能性があります。
ステルス機能が有効になっているアクセスポイントに接続する場合は、以下の手順でワイヤレスネットワークを手動で設定してください。

1 タスクバーの をクリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックする。
「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」をクリックし、[次へ]をクリックする。
ネットワークの情報入力画面が表示されます。

4 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を入力する。

ここで入力する「ネットワーク名」などの設定情報は、アクセスポイントに設定されているものと同じものを入力する必要があります。設定情報については、アクセスポイント側で確認してください。

5 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
「正常にXXXXXXXX（ネットワーク名）を追加しました」と表示されます。

6 「閉じる」をクリックする。
接続できると、ネットワークアイコンが に変わります。

パソコンを再起動してください

パソコンを再起動することで接続できるようになる場合もあります。

A⑦ アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください

このパソコンに内蔵のワイヤレス LAN で使用できるチャンネルは、1 ～ 11 チャンネルです。

アクセスポイントのチャンネル設定が 12 ～ 14 チャンネルになっている場合は接続できません。アクセスポイントのチャンネルを 1 ～ 11 の間に設定し直してください。設定方法については、アクセスポイントの説明書を参照してください。

A⑧ アクセスポイントに MAC アドレスフィルタリングが設定されていないか確認してください

同じアクセスポイントにつながっている他のパソコンがインターネットに接続できているときは、アクセスポイントに MAC アドレスが登録されていないか確認してください。

MAC アドレスフィルタリング機能が働いている場合は、このパソコンの MAC アドレスをアクセスポイントに登録する必要があります。

詳しくは、アクセスポイントの説明書を参照してください。

ご参考

- **このパソコンの MAC アドレスを確認するには**
  ①（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックする。
  ②「ipconfig/all」と入力し、**【Enter】**を押す。
  ワイヤレスネットワーク接続欄の「物理アドレス」の行に表示されている「-」（ハイフン）で 6 つに区切られた英数字が MAC アドレスです。
  ③「exit」と入力し、**【Enter】**を押す。

ワイヤレスアドホック（コンピューター相互）ネットワークには接続できません

このパソコンに搭載されている「Windows 7 Starter」は、ワイヤレスアドホックネットワークには対応していません。

お使いのアクセスポイントが Windows 7 に対応しているか確認してください

このパソコンには、Windows 7 が搭載されています。

アクセスポイントのメーカーのホームページなどで、これまでお使いのアクセスポイントが Windows 7 搭載のパソコンでも使えるかどうか、また Windows 7 に対応したドライバーなどが提供されていないか確認してください。

Q LAN 接続（有線 LAN）でインターネットに接続できない

A① ブロードバンドモデムなど通信機器の電源とケーブル類の接続を確認してください

お使いのブロードバンドモデム（ADSL モデム、ケーブルモデム、回線終端装置）などの通信機器の電源が入っているか、AC アダプターが抜けていないか、また、モデムケーブルや LAN ケーブルが、ブロードバンドモデムやパソコン、モジュラージャックなどから抜けていないか確認してください。

ご参考

- モデムケーブルは、長すぎるとインターネットに接続できなかったり、通信速度が遅くなる原因になることがあります。

A② ブロードバンドモデムのランプが正しく点灯しているか確認してください

お使いのブロードバンドモデムのランプで通信状態を確認することができます。ブロードバンドモデムの点灯状態については、お使いの機器の説明書やプロバイダーの資料を参照してください。

A③ ADSL をお使いの場合、いったん ADSL モデムの電源を切り、再度電源を入れて接続を確認してください

一度 ADSL モデムの電源スイッチを切り、入れ直すことで、接続できるようになることもあります。また、ADSL モデムの電源スイッチを切って電源コードをコンセントから抜き、しばらくしてから差し直して電源を入れると、動作が改善する場合もあります。
ADSL モデムの電源のオン、オフについては、ADSL モデムの説明書などを参照してください。

A④ モデムケーブル、LAN ケーブルなどを接続し直してください

ADSL モデムやワイヤレス LAN アクセスポイントなど、使用している通信機器の電源を切り、いったんケーブル類を取り外した後、接続し直してください。接続し直すことで修復される場合があります。
ケーブルを接続するときには、必ず機器の説明書を参照して、正しい手順で接続します。
なお、CATV 接続では、ケーブルモデムの電源を切ることができない場合があります。
CATV 局の説明書で確認してください。

A⑤ 時間をおいてもう一度接続し直してください

回線やサーバーの故障・工事・メンテナンスなども考えられます。時間を置いて接続するとつながることもあります。

A⑥ セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによって、ネットワークへのアクセスが制限される場合もあります

セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによってネットワークへのアクセスが制限され、インターネットに接続できなくなることもあります。詳しくはセキュリティ対策ソフトのヘルプやソフトウェアメーカーのホームページなどでご確認ください。

A⑦ パソコンを再起動してください

パソコンを再起動することで接続できるようになる場合もあります。

音・スピーカー

Q パソコンから「カリカリ」、または「カチャカチャ」音がしているが大丈夫？

A① ハードディスクが動作している音です

ハードディスクへアクセス(読み込み、または書き込み)中に、ハードディスクから「カリカリ」、または「カチャカチャ」と音が鳴ることがあります。また、作業中のファイルを読み込んだり、書き込んだりする以外に、Windowsが自動的にハードディスクへアクセスする場合もあります。
ハードディスクへアクセス中は、パソコンのハードディスクランプが点灯します。ハードディスクランプ点灯中は、パソコンの電源を切ったり衝撃を加えたりしないでください。

A② あまりにも音が大きくなったり、おかしな音がする場合は

そのままパソコンを使い続けると、ハードディスクが故障してデータの読み書きができなくなったり、パソコンが起動しなくなったりする恐れがあります。大切なデータのバックアップを取り、『**取扱説明書**』（付属の冊子）の**「サポートのご案内」**を参照し、点検・修理をご依頼ください。

Q 冷却ファンの音が大きい／電源を切ってもファンが回っている

A① ディスプレイの電源が切れているだけかもしれません

パソコンの電源が切れているのではなく、ディスプレイの電源が切れているだけかもしれません。キーボードのいずれかのキーを押してみてください。ディスプレイの電源が切れているだけの場合は、キーボードのキーを押すと画面が表示されるようになります。

キーボードのキーを押しても、画面が表示されない場合は、**【Fn】**＋**【F11】**（ ）を押してみてください。ディスプレイがオフになっている場合は、この操作で表示されるようになります。

A② 高速でファンが回転するため、風切音がします

パソコン本体の内部の熱を逃すために、高速でファンが回転するため、風切音がします。場合によっては、多少音が大きく聞こえることがあります。

A③ ファンが回ると画面が動かなくなるときは

『**取扱説明書**』（付属の冊子）の**「サポートのご案内」**を参照して、点検・修理をご依頼ください。

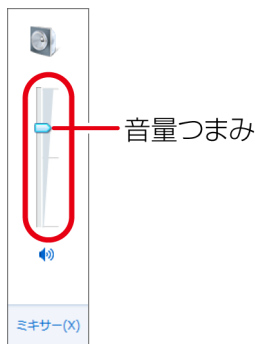
Q 音が出ない

A① タスクバーのボリュームアイコンを確認してください

タスクバーのボリュームアイコンが のときは、ミュート（消音）になっています。
をクリックし、音量調節画面の をクリックしてミュートを解除してください。

A② 音量を上げます

1 タスクバーの をクリックする。
音量調節画面が表示されます。

2 音量つまみを上にドラッグして音量をあげる

3 デスクトップ上の音量調節画面以外の場所をクリックする。
音量調節画面が閉じます。

A③ キーボードのキーを使って音量を上げることもできます

【Fn】＋【F4】（ ）：音量を上げます。
【Fn】＋【F10】（ ）：ミュートのときに押すと、ミュートが解除されます。

A④ 再生ソフトで音量を調節してください

アプリケーションソフトによっては、パソコンの音量設定よりソフトの音量設定が優先されることがあります。お使いの再生ソフトの音量がミュートや最小になっていないか確認してください。

例）**「Windows Media Player」で音楽を聴いている場合**

1 「Windows Media Player」の音量つまみを右にドラッグする。

「Windows Media Player」のミュートボタンが のときはミュート（消音）になっています。
をクリックするとミュートが解除されます。

ヘッドホンを接続していないか確認してください

ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。

ヘッドホンを接続して音が出ているか確認してください

ヘッドホンからは音が聞こえるときは、スピーカーが故障している可能性があります。
『**取扱説明書**』（付属の冊子）の「**サポートのご案内**」を参照して点検･修理をご依頼ください。

ファイル・ディスク

Q 画像ファイルをダブルクリックしたら、知らないソフトが起動して編集できない

A① 画像編集用ソフトで画像を開き直してください

ご購入時の設定では、画像ファイルをダブルクリックすると、「Windows フォトビューアー」が起動します。このソフトで画像の表示や拡大・縮小・回転・印刷は可能ですが、編集することはできません。
画像を編集するときには、画像編集用ソフトウェアが必要です。このパソコンには、画像編集用ソフトウェアとして「ペイント」が搭載されています。
「Windows フォトビューアー」から「ペイント」を起動するには、次の手順で操作します。

1 「Windows フォトビューアー」のメニューバーの「開く」をクリックし、「ペイント」をクリックする。

「ペイント」が起動します。

2 画像を編集する。

ご参考

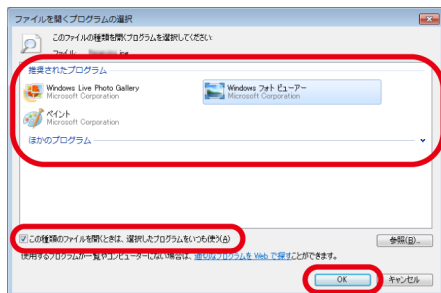
- **ほかのソフトウェアを起動するには**
  「Windows フォトビューアー」からその他のソフトウェアを開くには、「Windows フォトビューアー」の「開く」－「プログラムの選択」をクリックします。
- **常に画像ファイルを「ペイント」で開くには**
  ファイルの関連付けを変更する必要があります。ファイルの関連付けについては、**「ファイルをダブルクリックすると、前とは違うソフトウェアが起動するようになった」**(☞ 下記)を参照ください。

Q ファイルをダブルクリックすると、前とは違うソフトウェアが起動するようになった

A① ファイルの関連付けを変更してください

ファイルを開くときにどのソフトウェアを使用するかということを「関連付け」といいます。
ソフトウェアによっては、自動的にファイルの「関連付け」を変更してしまうものがあるため、新たにソフトウェアをインストールした後にファイルを開くと、前とは違うソフトウェアが起動することがあります。
このようなときは、以下の手順でファイルの「関連付け」を変更してください。

1 関連付けを変更するファイルを右クリックし、「プログラムから開く」－「既定のプログラムの選択」をクリックする。
「ファイルを開くプログラムの選択」画面が表示されます。

2 プログラムの一覧から、ファイルに関連付けるソフトウェア名をクリックし、「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックマークが付いていることを確認し、[OK]をクリックする。

指定したソフトウェアが起動し、ファイルが開きます。

Q 表示されるハードディスクの容量が、カタログや取扱説明書の表記より小さい

A① 表記方法の違いで表示値が異なります

カタログや説明書では、ハードディスク業界の慣習に従って、
1 GB（ギガバイト）＝ 1000 MB（メガバイト）
として換算した値が記載されています。
一方、Windows のエクスプローラーなどでは、ソフトウェア業界の慣習に従って、
1 GB（ギガバイト）＝ 1024 MB（メガバイト）
として換算した値が表示されます。

Q ファイルを保存していないのに、ハードディスクの空き容量が減っていく

A① 一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるためです

パソコンは、使っているうちにシステムのバックアップファイルや処理を早くするための一時ファイルなどが自動的に作成され、ハードディスクの空き容量が減少していきます。
ソフトウェアによっては、バックアップファイルが作成されることもあります。また、「Internet Explorer」でインターネットに接続した場合にも Web ページのキャッシュファイルが作成されます。
ファイルを保存した覚えがないのに、ハードディスク容量が減っていくのは、このような原因があるためです。

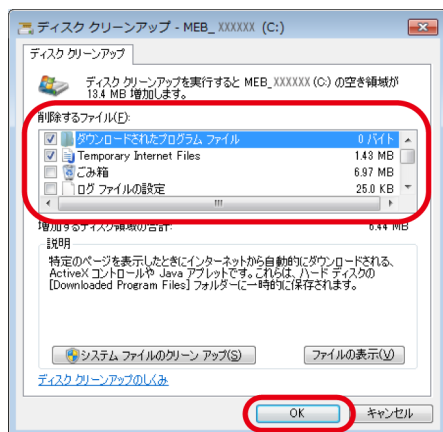
A② ディスククリーンアップを実行してください

ディスククリーンアップを実行すると、パソコンを使用しているうちに作成された不要な一時ファイルやバックアップファイルを削除できます。

1 （スタート）をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
「コンピューター」画面が表示されます。

2 ハードディスクドライブのアイコンを右クリックし､｢プロパティ｣をクリックする。
ハードディスクドライブのプロパティ画面が表示されます。

3 ［ディスクのクリーンアップ］をクリックする。
｢ディスククリーンアップ｣画面が表示されます。

4 ｢削除するファイル｣欄で、削除するファイルのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け､［OK］をクリックする。

ファイル名をクリックすると、下の「説明」欄に選択したファイルの説明が表示されます。ファイルを削除する前によく読み、削除してよいか確認してください。

｢これらのファイルを完全に削除しますか?｣と表示されます。

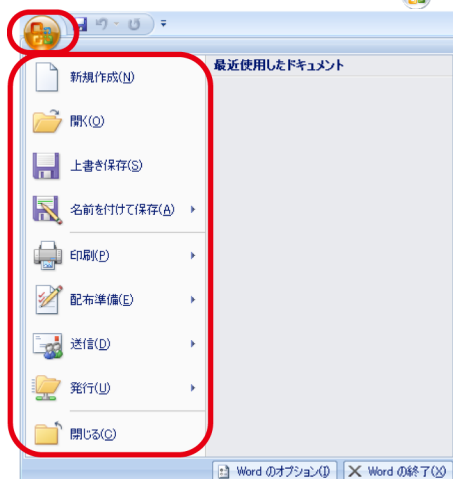
5 ［ファイルの削除］をクリックする。
ディスククリーンアップが始まります。

6 ［OK］をクリックする。

7 画面右上の ✕ をクリックして｢コンピューター｣画面を閉じる。

「Word 2007」や「Excel 2007」の「ファイル」メニューが見当たらない

A① をクリックします

これまでの「Word」や「Excel」のメニューバーの「ファイル」にあった「開く」や「上書き保存」、「名前を付けて保存」、「印刷」といった基本的な操作メニューは、「Word 2007」や「 Excel 2007」では、画面左上の をクリックすると表示されます。

ご参考

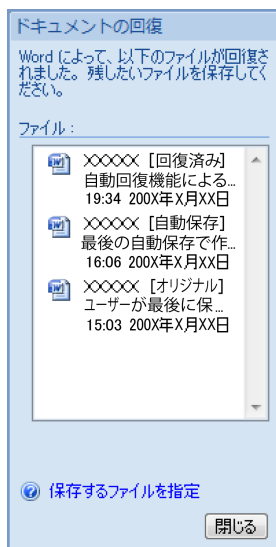
- 「Word 2003」や「Excel 2003」でメニューやツールにあった項目は、「Word 2007」や「Excel 2007」では画面上部のリボンに配置されています。リボンのコマンドは、機能別にグループ化され、タブにまとめられています。

- 「Word 2003」、「Excel 2003」などのメニューやツールに相当する項目が、「Word 2007」や「Excel 2007」ではどこに配置されているかを知りたいときは、Microsoft 社の以下のホームページなどを参照してください（参照先のホームページは予告無く変更される場合があります）。
  Word のインタラクティブガイド
  Excel のインタラクティブガイド
  ※「インタラクティブガイドを」を閲覧するためには、バージョン 7.0 以上の Adobe Flash Player が必要です。
  「PC トークー Office 2003 にあったメニューは Office 2007 ではどこにあるの？」

Q 文書の作成中に「Word 2007」や「Excel 2007」が強制終了してしまった

A① 「ドキュメントの回復」作業ウィンドウから、ファイルを回復できることがあります

「Microsoft Office Word 2007」や「Microsoft Office Excel 2007」で文書を作成中に急に応答しなくなったり、システムのトラブルなどで作成中のファイルが正しく保存されずに強制終了した場合、編集中のデータは失われてしまいます。しかし、画面左側に「ドキュメントの回復」作業ウィンドウが表示されているときは、そこからファイルを回復できることがあります。

1 強制終了したアプリケーションソフトを再度起動する。
画面の左に「ドキュメントの回復」作業ウィンドウが表示されます。

ファイルの保存状況により、次のように表示されます。

回復済み　：回復処理されたファイルがある場合に表示されます。終了した時点に近い状況を再現することができます。
自動保存　：定期的にバックアップされたファイルがある場合に表示されます。
オリジナル：前回、手動で保存されたファイルです。

作業ウィンドウにいくつかのファイルが表示された場合は、ファイルが保存された日時を見て、回復するファイルを選ぶことができます。
通常最新のファイルが一番上に表示されます。

2 ファイルをクリックする。
画面右側にファイルが開きます。

3 ファイルの内容を確認し、必要なファイルを保存する。
ファイルを保存するときは、 をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。

「ファイルはすでに存在します」というメッセージが表示されたときは、ファイルの保存方法を選択してクリックし、[OK] をクリックします。
「既存のファイルと置き換える」を選んで [OK] をクリックすると、前回手動で保存した時点のファイルに上書き保存されます。元のファイルを残したい場合は、「変更したファイルを別の名前で保存する」を選び、新しいファイル名を付けて保存してください。

4 必要なファイルが保存できたら、「ドキュメントの回復」画面の[閉じる]をクリックし、作業ウィンドウを閉じる。

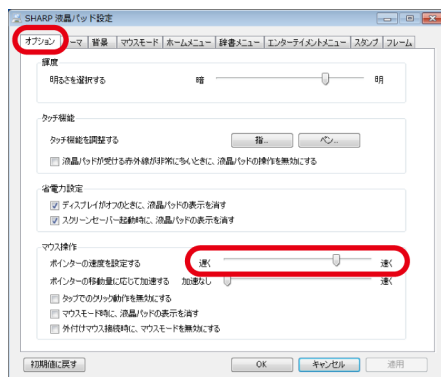
ご参考

- この方法で強制終了されたファイルがすべて回復できるものではありません。また自動バックアップ機能がオンになっていると、トラブルに備え、作業中のファイルが定期的に保存されますが、それにより手動でのファイルの保存が必要なくなるわけではありません。作業内容を失わないためにも、作業中に定期的に手動でファイルを保存するようにしてください。

Q マウスポインターの動きが遅い／速い

A① 液晶パッドでマウス操作をしているときは、「SHARP 液晶パッド設定」でマウスポインターの速度を調整してください

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」−「SHARP 液晶パッド設定」−「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「マウス操作」欄の「ポインターの速度を設定する」のつまみを左右にドラッグしてマウスポインターの速度を調節する。

3 [OK]をクリックする。

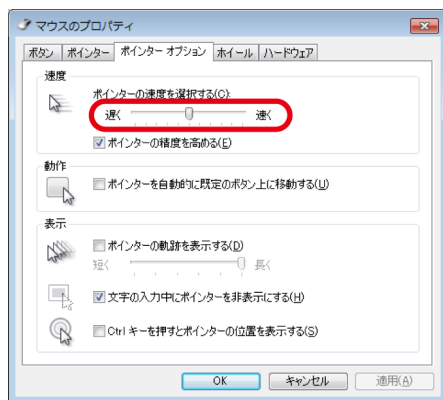
ご参考

- **マウスポインターに加速を付けることもできます。**
  液晶パッドでマウス操作をしているときに、マウスポインターに加速を付けることができます。加速を付けると、液晶パッドで指を速く動かしたときにマウスポインターが大きく移動します。
  ご購入時の状態では、加速は「なし」に設定されています。手順 **2** で表示された「オプション」画面で、「マウス操作」欄の「ポインターの移動量に応じて加速する」のつまみを右にドラッグするとポインターの加速が大きくなります。

A② マウスを接続してお使いの場合は、「マウスのプロパティ」でマウスポインターの速度を調節してください

1 (スタート)をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリックする。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

2 接続しているマウスのアイコンを右クリックし、「マウス設定」をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

3 「ポインターオプション」タブをクリックし、「速度」欄のつまみを左右にドラッグして速度を調節する。

4 [OK]をクリックする。

5 画面右上の をクリックして「デバイスとプリンター」画面を閉じる。

Q 液晶パッドが反応しなくなった

A① タッチモードになっていないか確認してください

モード切り替えボタンを押し、マウスモードに切り替えてください。

A② 液晶パッドにフィルムを貼り付けていませんか？

プライバシーフィルム（視野角制御フィルム）や傷／汚れ防止用のフィルムを貼り付けると、液晶パッドが正しく動作しなくなります。

Q キーボードからの入力操作を受け付けない／ソフトウェアが終了できない

A① 「タスクマネージャー」を使ってソフトウェアを強制終了してください

使用しているソフトウェアに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。

以下の操作で問題の発生しているソフトウェアを強制終了してください。

ご注意

- 強制終了したアプリケーションソフトの、保存していないデータはすべて失われます。

1 **【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】**を押し、「タスクマネージャーの起動」をクリックする。
「Windowsタスクマネージャー」画面が表示されます。

2 「アプリケーション」タブ画面で、動かなくなったソフトウェア名をクリックし、[タスクの終了]をクリックする。
問題が発生しているソフトウェアの状態欄には「応答なし」と表示されていることがあります。

3 「XXXXX(プログラム名)は応答していません」というメッセージが表示されたときは、[プログラムを終了します]をクリックする。
選択したソフトウェアが終了します。

4 画面右上の ✕ をクリックして「Windows タスクマネージャー」画面を閉じる。

A② キーボードのキーを使って、パソコンの電源を切り、再度電源を入れます

A1 の操作をしてもソフトウェアを終了できないときや、マウスポインターが動かないときは、キーボードのキーを使ってシャットダウンで電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ直します。

ご注意

- トラブルが起きてパソコンの電源を入れ直すときには、いったんシャットダウンでパソコンの電源を切ってください。パソコンの再起動では、正しく復帰しないことがあります。

1 【 】を押し、【→】を押して[シャットダウン]を選択し、**【Enter】**を押す。

2 電源ランプが消灯したことを確認し、10 秒以上待ってから再度電源を入れる。

A③ キーボードのキーで電源が切れないときは、電源ボタンを長押ししてパソコンの電源を切ります

パソコンの電源を強制的に切るときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認し、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。電源を切った後、再度電源を入れるときには、10 秒以上待ってから電源ボタンを押してください。
この操作で電源が切れない場合、AC アダプターとバッテリーパックを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上待ってから AC アダプターとバッテリーパックを取り付け、電源を入れてください。

ご参考

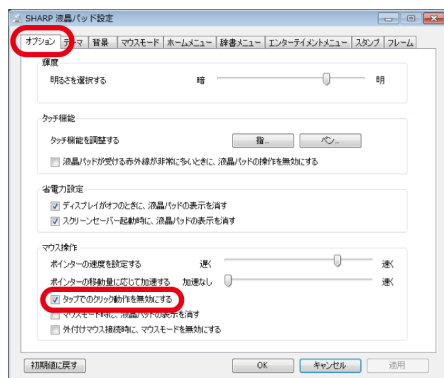
- 強制的に電源を切った後パソコンを起動すると、「Windows エラー回復処理」画面が表示されます。「Windows を通常起動する」が選択されていることを確認して、**【Enter】**を押します。
- 強制終了すると、保存していないデータはすべて失われます。万一に備えて、作業中でもファイルはこまめに保存しましょう。大切なデータは必ず、メモリーカードや USB メモリー、または外付けハードディスクなどに保存(バックアップ)しておくことをお勧めします。

Q キーボード入力中にマウスポインターが動いてしまい、文字の入力場所が変わってしまう

A① タップでのクリック動作を無効にすると改善される場合があります

ご購入時の状態では、液晶パッドを指で「トン」とたたく（タップする）とクリックしたことになります。キーボードでの入力中などに液晶パッドに触れたことがタップと認識されてしまい、意図しない動作が発生するときには、タップでのクリック動作を無効にすることにより改善される場合があります。
タップでのクリック動作を無効にするには、以下の手順で操作します。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「マウス操作」の「タップでのクリック操作を無効にする」をクリックしてチェックマークを付ける。

3 [OK]をクリックする。

ご参考

- タップでのクリック動作を無効に設定したときは、左ボタンを押してクリック操作をしてください。

Q マウスポインターが思いどおりに動かない

A① 指先や液晶パッドが汚れている可能性があります

指先や液晶パッドに、水分（汗）や汚れが付いていると、正常に動作しません。水分（汗）や汚れを拭き取ってから操作してください。

A② マウスポインターを移動したり、ファイルをドラッグしたりするときには、1 本の指で操作してください

液晶パッドを 2 本の指で上下／左右に動かすと、スクロール操作になります。
液晶パッドの操作については、『**取扱説明書**』（付属の冊子）を参照してください。

ご参考

- 指でのマウス操作時には、パッドに指先を付けて滑らせるように動かすとスムーズに操作できます。

A③ 接続しているマウスを取り外してください

いったんマウスを取り外し、マウスポインターの動作を確認してください。マウスを差し直すことで、マウス操作時の動作が改善されることもあります。
なお、このパソコンは、外付けマウスを接続しても液晶パッドでのマウス操作は可能です。外付けマウス操作時に液晶パッドに触れると、マウスポインターが正しく動作しません。

ご参考

- **マウスを接続したときの液晶パッドでのマウス操作をオフにすることもできます。**
  ① (スタート)をクリックし､｢すべてのプログラム｣－｢SHARP 液晶パッド設定｣－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
  ②「オプション」タブをクリックし、「マウス操作」の「外付けマウス接続時に、マウス操作を無効にする」をクリックしてチェックマークを付ける。

- **マウスを接続してお使いの場合は、以下の点もあわせて確認してください。**
  ・マウスのボールや発光部、受光部が汚れていないか確認してください。
  マウスのボールや発光部、受光部が汚れていると、正しく動作しません。汚れをふき取ってから使用してください。
  ・市販のマウスパッドをお使いください。
  マウスをスムーズに操作するために、マウスパッドの使用をお勧めします。
  光学式マウスをお使いのときは、光学式マウス対応のマウスパッドを使用してください。光学式マウス対応のマウスパッドを使用しないと、正しく動作しないことがあります。
  ・ドライバーを最新のバージョンに更新してください。
  マウスのメーカーのホームページを確認して、お使いのマウス用のドライバーをダウンロードし、最新のバージョンに更新してください。

A④ ポインターの速度を調節してください

ポインターの速度の調節方法は、**「マウスポインターの動きが遅い／速い」**（☞40 ページ）の **A1** を参照してください。

A5 ソフトウェアの処理中は、反応しないことがあります

マウスポインターが待ち状態になっているときは、パソコンが処理動作をしているため、マウスポインターの操作は受け付けられません。故障ではありませんので、処理が終わるまでお待ちください。
また複数のソフトウェアを同時に起動するなどして、メモリーが多く使用されると、マウスポインターの動きが遅くなることがあります。使っていないソフトウェアを終了させたり、常駐ソフトウェアの数を減らしたりして、メモリーの空きを確保してください。

ご参考

- **しばらく待っても操作ができないときは**
  ソフトウェアに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。**「キーボードからの入力操作を受け付けない／ソフトウェアが終了できない」**（☞41 ページ）の **A1** を参照して、動かなくなったソフトウェアを強制終了してください。

A6 パソコンの電源を入れ直します

シャットダウンでパソコンの電源を切り、電源を入れ直すことで動作が改善されることがあります。

Q ペンで入力できない

A1 付属の専用ペンを使用してください

専用ペン以外のペンは使用できません。

ご参考

- ペン先の白い部分以外では入力は認識されません。

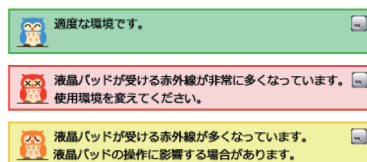
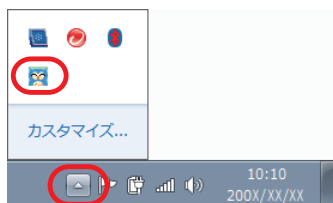
A2 メイン画面の「赤外線量表示」ウィンドウを確認してください

「タッチ操作、マウス操作、ペン入力できない」（☞ 次ページ）を参照してください。

タッチ操作、マウス操作、ペン入力できない

メイン画面に表示されている「赤外線量表示」ウィンドウを確認してください

液晶パッドに当たる外光や照明の状態によっては、液晶パッドの操作がしにくくなったり、操作できなくなったりすることがあります。その場合は、メイン画面の「赤外線量表示」ウィンドウを目安に、操作できる場所へ移動してください。

「赤外線量表示」ウィンドウ

なお、「赤外線量表示」ウィンドウを閉じているときは、「赤外線量」アイコンでも確認できます。「赤外線量表示」アイコンは、タスクバーの をクリックすると表示されます。

赤外線量表示アイコン	光の状態
	適度な環境
	赤外線が多い
	赤外線が非常に多い

「赤外線量表示」アイコンを常に表示させるには

ご購入時の状態では「赤外線量表示」アイコンは、タスクバー上に表示されていません。アイコンを常に表示するには、以下の手順で操作して設定を変更します。

① タスクバーの をクリックし、「カスタマイズ」をクリックする。
② タスクバーに表示するアイコンと通知の選択の一覧で、「SLMgrアプリケーション」の動作を「アイコンと通知を表示」に変更する。
③ [OK] をクリックする。

ご参考

- 液晶パッドを手のひらや紙などで覆うと、赤外線量表示が「赤外線が多い」「赤外線が非常に多い」表示になります。
  これは、液晶パッドが出力する赤外線を手のひらや紙が反射するためです。表示が変わっても、マウス操作やタッチ操作が可能なときはそのままお使いください。
- 次のような場所では、液晶パッドが使用できない場合があります。
  - ・屋外や窓辺など、外光が多い場所
    （外光の状態によっては、指でのマウス操作のみ可能）
  - ・電車の中など、明るさが大きく変化する場所
  - ・白熱灯やハロゲンランプなどの近く
  - ・ハロゲンヒーター、赤外線ヒーター、石油ストーブなどの近く

A②

休止状態から復帰したときにマウス操作ができないときは、しばらくお待ちください

休止状態から復帰直後は、液晶パッドには何も表示されていない状態が続き、マウス操作できません。液晶パッドの画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

A③ 液晶パッドがまったく動作しなくなったときは、キーボードのキーを使ってパソコンの電源を切り、電源を入れ直してください

ご注意

- パソコンの再起動では、正しく復帰しないことがあります。
  トラブルが起きてパソコンの電源を入れ直すときには、いったんシャットダウンでパソコンの電源を切ってください。

1 【(Windows)】を押し、【→】を押して[シャットダウン]を選択し、**【Enter】**を押す。
2 電源ランプが消灯したことを確認し、10 秒以上待ってから再度電源を入れる。

Q 液晶パッドを指でうまく操作できない

A① 指で操作する場合は、パッドに指先を付けるようにしてください

パッドには指先を付けるようにして操作してください。マウス操作時には、パッドに指先を付けて滑らせるようにするとスムーズに操作できます。

ご参考

- 次のような操作は正しく認識できないことがあります。
  - ・爪先でタッチする
  - ・指の側面でタッチする
  - ・指を水平に寝かせてタッチする
  - ・指をすばやく動かす

A② 2 本の指で操作するときには、指と指の間を約 1cm 空けて操作してください

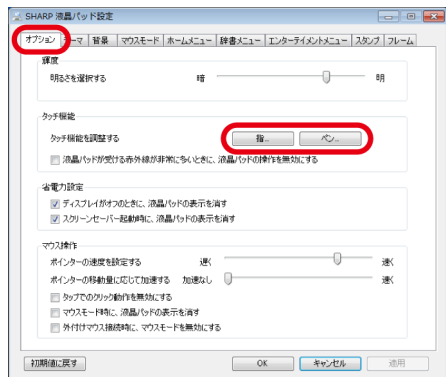
指をそろえて操作すると、1 本の指での操作として認識されてしまうことがあります。

Q タッチした位置とずれて反応する

A① タッチ位置の調整をしてください

液晶パッド上のタッチした位置と画面の反応位置がずれているときは、タッチ位置の調整をします。指での操作時のずれとペン操作時のずれは、別々に調整します。

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「タッチ機能」欄の［指］または［ペン］をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックする。
液晶パッドにタッチ機能調整画面が表示されます。

4 指または専用ペンで画面の十字の中心点をタッチする。
タッチ機能調整画面が消え、マウスモードに戻ります。

5 メイン画面の「SHARP 液晶パッド設定」画面の［OK］をクリックする。

Q パソコンを再起動中、電源が切れているのに液晶パッドが表示されたままになっている

A① パソコンの再起動中も液晶パッドはお使いの状態で表示されたままになっています

シャットダウンでパソコンの電源を切ると液晶パッドの電源も切れ、次に電源を入れたときにはマウスモードで起動します。

ご参考

- スリープ／休止状態から復帰したときは、移行直前に使用していたモード（状態）で復帰します。

Q 使い続けていると、液晶パッドが熱くなる

A① 製品の品質上、特に問題はありませんので、そのままお使いください

液晶パッドを使い続けていると、液晶パッドが熱くなることがありますが、故障ではありませんので、そのままお使いください。

A② かなり熱いと感じたときは

いったんシャットダウンでパソコンの電源を切り、パソコン本体を冷ましてください。

周辺機器

Q タスクバーに（ハードウェアの安全な取り外しアイコン）が表示されない

A① タスクバーのをクリックします

「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンは、をクリックすると表示されます。

A② は、USB 機器やメモリーカードなどが正しく接続・挿入されていないと表示されません

は、USB 機器などの周辺機器やメモリーカードなどが接続または挿入されている間のみ表示されるアイコンです。
USB 機器やメモリーカードなどの接続や挿入、取り外し方法については、『**活用ガイド**』（PDF）を参照してください。

Q 今まで使っていた周辺機器をこのパソコンでも使用できますか？

A① コネクターの形状を確認してください

周辺機器のコネクターがこのパソコンに接続できる形状かどうか確認してください。
このパソコンに搭載されているコネクターについては、『**取扱説明書**』（付属の冊子）を参照してください。

A② 周辺機器が Windows 7 に対応しているか確認してください

このパソコンには、Windows 7 が搭載されています。
周辺機器メーカーのホームページなどで、これまでお使いの周辺機器が Windows 7 搭載のパソコンでも使えるかどうか、また Windows 7 で使用できるようにするための更新ドライバーが提供されていないか確認してください。

Q メモリーカードにデータを書き込めない

A① メモリーカードが認識されているか確認してください

1. （スタート）をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
   「コンピューター」画面が表示されます。
2. 「リムーバブル記憶領域があるデバイス」にメモリーカードに該当するリムーバブルディスクアイコンが表示されているか確認する。
   アイコンが表示されていないときは、メモリーカードは認識されていません。いったんカードをパソコンから取り出し、再度メモリーカードスロットに差し込んでください。

ご参考

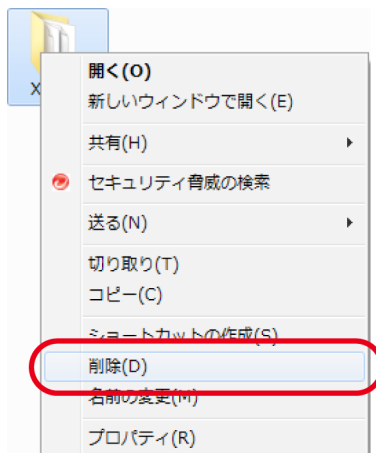
- このパソコンで使用できるメモリーカードの種類やメモリーカードスロットの位置、メモリーカードの差し込み方法などについては、『**仕様一覧**』（PDF）や『**活用ガイド**』（PDF）を参照してください。

空き容量が十分にあるメモリーカードをお使いください

メモリーカードの空き容量が少ないと、データを書き込むことはできません。不要なファイルやフォルダーを削除するなどして、メモリーカードの空き容量を増やしてください。
ファイルやフォルダーを削除するには、次の手順で操作してください。
メモリーカードから削除されたファイルやフォルダーは元に戻すことはできません。保存されているデータをあらかじめ確認してから削除してください。

1 (スタート)をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
「コンピューター」画面が表示されます。

2 「リムーバブル記憶領域があるデバイス」のメモリーカードに該当するリムーバブルディスクアイコンをダブルクリックする。
メモリーカードのフォルダーが開きます。

3 不要なファイルやフォルダーを右クリックし、「削除」をクリックする。

「このファイル(フォルダー)を完全に削除しますか?」と表示されます。

4 [はい]をクリックする。

メモリーカードの書込み禁止を解除してください

「このディスクは書込み禁止になっています…」というメッセージが表示されてデータの書き込みができないときは、メモリーカードの書き込み禁止スイッチを確認してください。

書き込み禁止スイッチがLOCK位置にあるときは、解除位置へ戻してください。
書き込み禁止スイッチについては、メモリーカードの説明書を参照してください。

Q 外部ディスプレイに何も表示されない

A① 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください

外部ディスプレイの電源が入っているかどうかの確認方法は、外部ディスプレイの説明書を参照してください。

A② 外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください

パソコンと外部ディスプレイのそれぞれのディスプレイコネクターに、ディスプレイケーブルが正しく接続されているか、外れていないか確認してください。

A③ 表示先を外部ディスプレイに設定してください

キーボードの **【Fn】**＋**【F5】**（）を押すと表示先が切り替わります。表示先を示すアイコンが外部ディスプレイに変わるまで、**【Fn】**＋**【F5】**（）を数回押してください。

A④ Windows の「ディスプレイ表示の変更」画面で表示先を外部ディスプレイに切り替えてください

表示先を切り替えるには、キーボードの **【Fn】**＋**【F5】**（）で切り替える方法と Windows の「ディスプレイ表示の変更」画面で切り替える方法があります。
キーボードの **【Fn】**＋**【F5】**（）を使って切り替えたときに画面が正しく表示されない場合は、Windows の「ディスプレイ表示の変更」画面で表示先を切り替えてください。

1 デスクトップ上のアイコンなどが何もない場所で右クリックし､「画面の解像度」をクリックする。

「画面の解像度」画面が表示されます。

2 「複数のディスプレイ」欄の ▾ をクリックし、表示先を選択する。

表示画面を複製する：パソコンと外部ディスプレイの両方に同じ画面が表示されます。
デスクトップを1のみに表示する：パソコンのみに表示します。
デスクトップを2のみに表示する：外部ディスプレイのみに表示します。

3 画面を下にスクロールし、[適用]をクリックする。
ディスプレイ設定の確認画面が表示されます。

4 [変更を維持する]をクリックする。

5 [OK]をクリックして「画面の解像度」画面を閉じる。

A⑤ 使用しているソフトウェアにより、画面の表示先が変わらないことがあります

動画の再生中やゲームソフトの使用中は、画面の表示先が変わらないことがあります。その場合は動画やゲームソフトを終了してください。

A⑥ ディスプレイドライバーのインストールが必要でないか確認してください

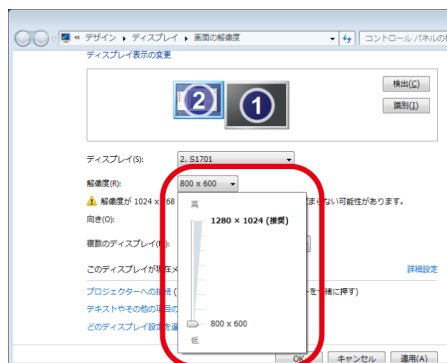
接続する外部ディスプレイによっては、ディスプレイドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくは、外部ディスプレイの説明書を参照してください。

Q 外部ディスプレイが正しく表示されない

A① 外部ディスプレイの解像度を変更してください

表示先を外部ディスプレイのみにしたときに「最適解像度の通知」画面が表示されることがあります。これは、画面の解像度が外部ディスプレイに合っていないためです。表示先の外部ディスプレイの解像度を変更するには、以下の手順で操作します。

1 デスクトップ上のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「画面の解像度」をクリックする。
「画面の解像度」画面が表示されます。

2 「解像度」欄の ▾ をクリックし、外部ディスプレイの解像度を変更し、[適用]をクリックする。

ディスプレイ設定の確認画面が表示されます。

3 設定した解像度でよければ、[変更を維持する]をクリックする。

4 [OK]をクリックして「画面の解像度」画面を閉じる。

Q マルチモニター機能が使えない

A① このパソコンはマルチモニター表示機能に対応しておりません

このパソコンには、「Windows 7 Starter」が搭載されています。「Windows 7 Starter」は、マルチモニター表示機能には対応しておりません。

ご参考

- **マルチモニター表示機能とは**
  外部ディスプレイ接続時に、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイに異なる表示を出力する拡張表示機能のことです。

Bluetooth 機能を使ったデータの送受信や周辺機器の接続ができない

A① お使いの周辺機器が Bluetooth 機能に対応しているか確認してください

Bluetooth 機能を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
このパソコンの Bluetooth 機能は、次のプロファイルに対応しています。

対応プロファイル

プロファイル名	用　途
SPP (Serial Port Profile)	機器間をシリアル接続するためのプロファイル 接続時にポートの設定が必要な場合がある
OPP (Object Push Profile)	他の Bluetooth 機器にデータを送信するためのプロファイル
FTP (File Transfer Profile)	Bluetooth 機器間でデータを転送するためのプロファイル
DUN (Dial-up Networking Profile)	携帯電話を介してインターネットにダイヤルアップ接続するためのプロファイル
HSP (Headset Profile)	Bluetooth 対応ヘッドセットを接続するためのプロファイル
BIP (Basic Imaging Profile)	静止画像を送信するためのプロファイル
PAN (Personal Area Networking Profile)	小規模ネットワークを実現するためのプロファイル
HID (Human Interface Device Profile)	キーボードやマウスなどの入力装置を接続するためのプロファイル
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	Bluetooth 対応ヘッドセットやヘッドホン、スピーカーに音楽を転送するためのプロファイル
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	AV 機器をリモートコントロールするためのプロファイル

(基本プロファイル除く)

接続する Bluetooth 機器の対応プロファイルについては、相手機器の説明書を参照してください。

A② Bluetooth 機能が有効(オン)になっているか確認してください

Bluetooth 機能が有効になっているかどうかは、タスクバーの をクリックして表示される Bluetooth アイコンで確認します。

1 タスクバーの をクリックする。
青地に白マーク：Bluetooth機能有効
青地に赤マーク：Bluetooth機能無効

Bluetooth機能を有効にするには、**【Fn】**＋**【F2】**( )を押します。

A③ 機器同士を近づけて、通信距離を短くしてください

通信相手機器とは、見通し距離 10 m以内で接続してください。ただし、壁・障害物があるときや相手機器の電波状況によっては、この距離が短くなります。また、壁が鉄筋コンクリートの場合は、接続できないことがあります。できるだけ近くで接続してください。

A④ 近くに通信障害となる機器がないか確認してください

他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器、ファックス、デジタルコードレス電話機など）から 2 m以上、電子レンジ使用時は電子レンジから 3 m以上離れて接続してください。
他の機器の電源が入っているときに、このパソコンをその機器の近くで操作すると、正常に接続できないことがあります。

A⑤ ワイヤレス LAN を無効にしてください

Bluetooth 機能とワイヤレス LAN を同時に有効にすると、通信速度や通信距離が低下することがあります。Bluetooth 機能を有効にするときには、ワイヤレス LAN を無効にすることをお勧めします。

A⑥ 接続する相手機器によっては、正しく接続できない場合があります

接続する機器の特性や仕様によっては、接続できない、接続が途切れる、データのやり取りができない、通信速度／通信距離が低下する、などの現象が発生することがあります。
このパソコンの Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありませんので、ご了承ください。

Windows のシステムの修復

パソコンの動作が不安定になったり、Windows が正常に起動しなくなった場合は、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。問題が解決される場合があります。

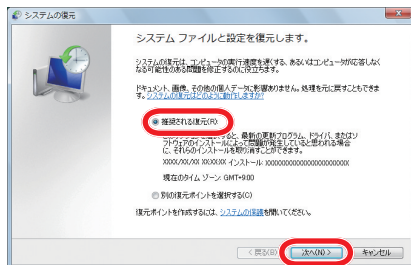
システムの復元を実行する

システムの復元を実行すると、システムをパソコンが正常に動作していた日時の状態（復元ポイント）に戻すことができます。復元ポイントは、定期的に自動作成され、また、Windows Update やソフトウェアのインストールなどによってシステム設定が変更される直前にも、自動的に作成されます。

ご参考

- **システムの復元を実行する前の準備**
  - ・大切なデータは、システムの復元を実行する前にメモリーカードや USB メモリー、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
  - ・起動しているソフトウェアがあるときは終了してください。
- **システムの復元を実行できないときは**
  - ・「スタートアップ修復を実行する」（☞ 次ページ）の手順 **6** で「システムの復元」をクリックして実行してください。
- **システムの復元を実行すると**
  - ・復元ポイント以降にインストールしたソフトウェアや周辺機器用ドライバー・ユーティリティなどは削除されるため、必要に応じて再インストールしてください。
  - ・システムの設定だけでなく、アプリケーションソフトの設定も元に戻る場合があります。

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」の順にクリックする。
「システムの復元」画面が表示されます。

2 「推奨される復元」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする。

ご参考

- **問題が発生した日時が明確なときは**

  復元ポイントを指定して復元してください。
  ①「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、［次へ］をクリックする。
  ②問題が発生した日より前の日時の復元ポイントをクリックし、［次へ］をクリックする。

3 復元ポイントの日時を確認し、[完了]をクリックする。
確認画面が表示されます。

4 [はい]をクリックする。
システムの復元が開始されます。
復元が完了すると、パソコンが再起動し、「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。

5 [閉じる]をクリックする。

ご参考

- システムの修復に失敗して Windows が起動しなくなったときは、セーフモードで起動して復元を取り消してください。
  ①パソコンの電源を入れる。
  ② SHARP のロゴが表示された後、画面が真っ暗になったらすぐに **【F8】** を数回押す。
  ③ **【↓】** で「セーフモード」を選び、**【Enter】** を押す。
  ④ [スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」の順にクリックする。
  ⑤「システムの復元の取り消し」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックする。
  ⑥ [完了] をクリックする。
  ⑦ [はい] をクリックする。
  パソコンが再起動します。再起動後は通常モードに戻り、「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。
  ⑧ [閉じる] をクリックする。

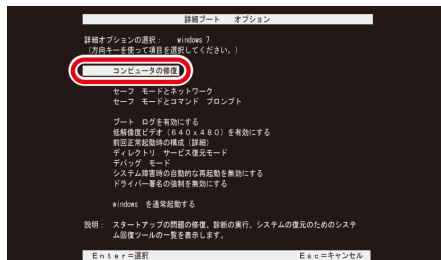
スタートアップ修復を実行する

Windows が正常に起動しなくなったときは、システム回復オプションを起動してスタートアップ修復を実行してください。

1 パソコンの電源を入れ、画面中央に表示される「SHARP」の文字が消えたらすぐに、**【F8】**を繰り返し押す。
「詳細ブートオプション」画面が表示されるまで繰り返し **【F8】** を押してください。

ご参考

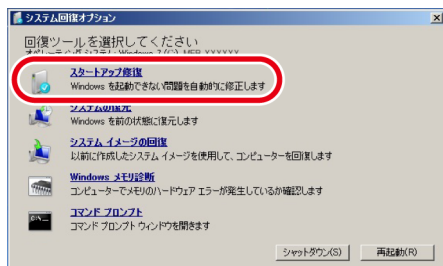
- 「Enter Password」画面が表示されたときは、設定しているスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

2 「コンピューターの修復」が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード入力方式欄で「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

4 「ユーザー名」欄から Windows 起動時(ログイン時)のユーザー名を選択し、パスワードを設定している場合はパスワードを入力する。

5 [OK]をクリックする。

6 「スタートアップ修復」をクリックする。

システムの問題を確認し、問題がある場合は自動的に修復します。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

ご参考

- その他の項目について
  システムの復元
  パソコンが正常に動作していた日時の状態（復元ポイント）に戻すことができます。
  システムイメージの回復
  このパソコンでは使用できません。
  Windows メモリ診断ツール
  メモリーに問題がないか調べます。
  コマンドプロンプト
  コマンドプロンプトのウィンドウを表示します。

リカバリー DVD の作成

このパソコンには、リカバリー DVD は付属していません。
ハードディスクが故障したり、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが壊れたりしたときに備えてリカバリー DVD を作成することをお勧めします。作成したリカバリー DVD を使用した再インストール方法については**「再インストール（ご購入時の状態に戻す）」**（☞62 ページ）を参照してください。

ご参考

- リカバリー DVD を作成した後も、ハードディスクから再インストールできます。

必要なものを準備する

- CD/DVD ドライブ（市販品）
  使用可能な CD/DVD ドライブについては、下記のメビウスサポートページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/
- 新しい DVD-R（1 層）：PC-NJ70B では 3 枚／ PC-NJ80B では 4 枚
- リカバリー DVD 作成には、推奨ディスクを使用してください。
  推奨ディスクについては、CD/DVD ドライブの説明書などを参照してください。
- ペン先が硬くない油性ペンなど

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリー DVD を作成するときには、「Recovery Disk Creator」を使用します。リカバリー DVD を作成する前に、下記の「Recovery Disk Creator ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

Recovery Disk Creator ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム（Recovery Disk Creator）、データおよびマニュアル（以下総称して「本製品」という）は、Enterprise Corporation International (以下「ECI」という）が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的：
本製品は、シャープ（株）が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable DVD として作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します：
1. 本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2. 本製品を 2 台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3. 本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布（パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む）すること。
4. 本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5. 本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6. 本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7. 本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8. ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ECI は本製品の使用を終了させることができます。

制限付き保証：
ECI は、本製品が付属する ECI の資料に従ってほぼ動作することを保証します。ECI およびシャープ（株）は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限：
ECI およびシャープ（株）は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これは ECI が当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

リカバリー DVD 作成前の準備

リカバリー DVD 作成に失敗しないために次の準備をしてください。

- AC アダプターを接続する
- タスクバーの をクリックして、「高パフォーマンス」が選択されているか確認する
  選択されていないときは、【Fn】＋【F9】（eco）を数回押して「高パフォーマンス」モードに切り替えてください。
- 「電源オプション」の「プラン設定の編集」画面で「コンピューターをスリープ状態にする」を「なし」に設定する
- 関係のないソフトウェアや、自動的に起動するソフトウェアは終了する
- ワイヤレス LAN でネットワークに接続しているときは、ワイヤレス LAN アンテナを無効にする。
- 有線 LAN でネットワークに接続しているときは、LAN ケーブルを取り外す。

リカバリー DVD を作成する

リカバリー DVD の作成には、CD/DVD ドライブ（市販品）が必要です。

ご注意

- リカバリー DVD は一度しか作成できません。
- 作成したリカバリー DVD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

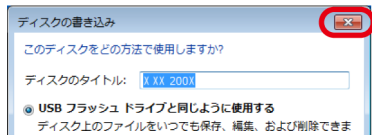
ご参考

- リカバリー DVD の作成を途中で中止しても、最初からやり直して作成することができます。
- リカバリー CD を作成することはできません。

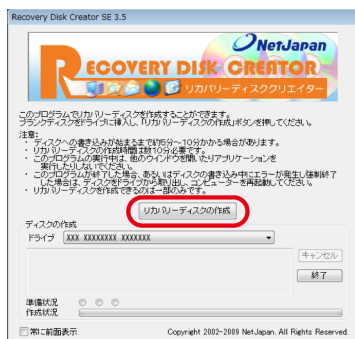
1 CD/DVD ドライブを接続する。
接続方法については、CD/DVD ドライブの説明書を参照してください。

ご参考

- USB バスパワー対応の CD/DVD ドライブを接続する場合は、必ず CD/DVD ドライブに AC アダプターを接続してください。

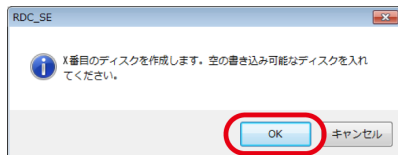
2 新しいDVD-R（1層）をCD/DVDドライブにセットする。
「ディスクの書き込み」画面や自動再生画面など何か画面が表示されたときは、画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じてください。

3 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「プロダクトリカバリーDVD作成」の順にクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックする。
「Recovery Disk Creator」が起動します。

5 ［リカバリーディスクの作成］をクリックする。

6 確認画面で［OK］をクリックする。
書き込みが始まります。

ご注意

- ディスクへの書き込みが開始されるまで、5～10分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

7 次の画面が表示されたら、新しいディスクと入れ替え、［OK］をクリックする。

書き込みが完了したディスクから、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリーディスク1」、「リカバリーディスク2」、……と順にディスク番号を書いてください。

8 「ディスクの作成が完了しました。」と表示されたら［OK］をクリックし、CD/DVDドライブからディスクを取り出す。
取り出したディスクに、続きのディスク番号を書いてください。

9 ［終了］をクリックする。

10 確認画面で［はい］をクリックして「Recovery Disk Creator」画面を閉じる。

再インストール（ご購入時の状態に戻す）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。

ご注意

- このパソコンは、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えたりしないでください。再インストール用のデータが消えて、ハードディスクからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリーソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリーソフトの中には、MBR（マスターブートレコード:ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリーソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリー DVD が作成できなかったりします。また、再インストール時に D ドライブのデータが消えることもあります。

再インストールする前に、もう一度確認してください

再インストールすると、ハードディスク内の C ドライブの内容は消去されてしまいます。再インストールの種類によっては D ドライブの内容も消去されます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

ご参考

- **PC-NJ80B をお使いの場合、市販の CD/DVD ドライブが必要です。**
  パソコンを再インストールすると、「Office Personal 2007」も消去されてしまいます。「Office Personal 2007」を再インストールするには、市販の CD/DVD ドライブが必要です。

『**取扱説明書**』（付属の冊子）および『**使ってみよう液晶パッド**』（PDF）の**「故障かな？と思ったら」**や**「Q&A」**（☞8 ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。あてはまる項目がないか調べてみてください。

それでも問題が解決しないときは、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。（**「Windows のシステムの修復」**☞56 ページ）

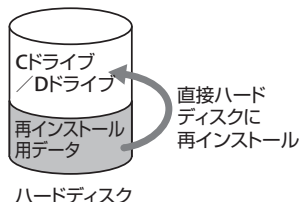
ご参考

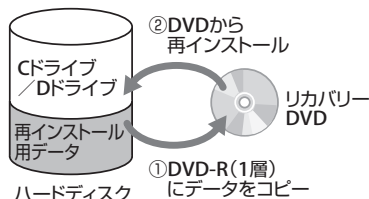
- **再インストールが途中で中断したときは**
  下記の手順に従って、最初から再インストールをやり直してください。
  ① ［戻る］をクリックして再インストールの最初の画面まで戻ります。
  ② ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックします。
  ③ パソコンが再起動しますので、最初から再インストールをやり直してください。
- **再インストール後はセキュリティ対策をしてください**
  再インストール完了後のパソコンは、ご購入時の状態に戻っています。コンピューターウイルスや悪意のあるプログラムからパソコンを守るために、『**取扱説明書**』（付属の冊子）の**「セキュリティ対策」**を参照して、Windows とセキュリティ対策ソフトを最新の状態にしてください。

再インストールの種類

再インストールには、ハードディスクドライブから再インストールする方法と、リカバリーDVD から再インストールする方法とがあります。

- 万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、ハードディスクから再インストールすることができなくなります。万一に備えて、リカバリーDVD を作成しておくことをお勧めします。
  リカバリー DVD を作成する方法は**「リカバリー DVD の作成」**(☞59 ページ)を参照してください。

ハードディスクドライブから再インストールする

あらかじめハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
この方法ではリカバリー DVD を使って再インストールするよりも短時間で再インストールを完了できます。

リカバリー DVD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったん DVD-R（1 層）にコピーし、DVD からハードディスクに再インストールする方法です。
お客様ご自身で DVD-R（1 層）を用意して、リカバリー DVD の作成作業をしていただく必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、リカバリー DVD から再インストールすることができます。

再インストールの準備をする

必要なものを準備する

PC-NJ80B を再インストールする場合

- **取扱説明書**
- **CD/DVD ドライブ**（市販品）
- **「Office Personal 2007」パッケージ**
  「Office Personal 2007」の CD-ROM および「スタートガイド」を使用します。
- **リカバリー DVD**（リカバリー DVD から再インストールする場合のみ）
  60 ページで作成したリカバリー DVD を準備してください。
  ハードディスクから再インストールするときは、リカバリー DVD は不要です。

PC-NJ70B を再インストールする場合

ハードディスクから再インストールする場合、特に必要なものはありません。
リカバリー DVD から再インストールする場合、次のものを準備してください。

- **取扱説明書**
- **CD/DVD ドライブ**（市販品）
- **リカバリー DVD**
  60 ページで作成したリカバリー DVD を準備してください。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールする前に必ずバックアップしておいてください。データのバックアップ方法については、『**活用ガイド**』（PDF）の**「データのバックアップ」**を参照してください。

ソフトウェア使用許諾書を読む

再インストールするときには、「Active Image Protector Recovery OEM Edition」を使用します。再インストールの前に、次の「Active Image Protector Recovery OEM Edition 使用許諾書」をよくお読みください。

株式会社 ネットジャパン
Active Image Protector Recovery OEM Edition 使用許諾書

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。株式会社ネットジャパン (以下、「ライセンサー」) は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人 (以下、「ライセンシー」) に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾
本ソフトウェアはライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：
A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーのコンピュータに添付され出荷されます。本ソフトウェアは、出荷時のハードディスクイメージの復旧機能の一部を構成し、出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の 1 台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。
使用禁止：
A. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
B. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート
ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証
本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責
ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項
本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 8 番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順でします。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2　再インストールする

⇩

Step3　Windows をセットアップする

⇩ PC-NJ80B の場合

Step4　「Office Personal 2007」を再インストールする

⇩

⇩ PC-NJ70B の場合

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

パソコンの準備をする

1 シャットダウンでパソコンの電源を切る。

2 パソコンにメモリーカードや USB 接続の周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外す。

ご注意

メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したまま再インストールを実行すると、それらのデータが消去される場合があります。

リカバリー DVD を使用するときは

CD/DVD ドライブ（市販品）を接続します。
接続方法については、CD/DVD ドライブの説明書を参照してください。

3 パソコンに AC アダプターを取り付ける。

ご注意

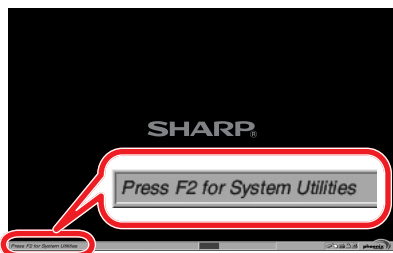
必ず AC アダプターを接続してください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールする

ここでは、ハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って、Cドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を中心に説明します。Cドライブのみを再インストールすると、Dドライブ内のデータは削除されませんので、通常はこの方法で再インストールしてください。

ハードディスク全体またはCドライブのサイズを指定して再インストールすることも可能です。また、ここでは、作成したリカバリーDVDを使用して再インストールする場合についても説明しています。
これらの操作手順については、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

1 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、**【F2】**を押す。

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 設定を初期値に変更する。
①**【F9】**を押す。
②「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。

リカバリーDVDを使用するときは

上記手順で設定を初期値に変更した後、下記手順に従ってリカバリーDVDから起動するための設定をしてください。
①「リカバリーディスク1」をCD/DVDドライブにセットする。
②**【→】**で、「Boot」メニューを選択する。
「Boot」メニュー画面が表示されます。
③**【↓】**で「USB CD/DVD」を選択し、**【スペース】**で「USB CD/DVD」を一番上にする。

3 設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。
①**【F10】**を押す。
②「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
パソコンが再起動します。

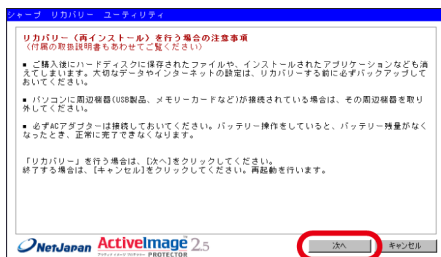
リカバリーDVDを使用するときは

「Step2 再インストールする」に進んでください。

4 パソコンが再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、**【F4】**を押す。
表示されている時間は約2秒です。

5 次の「Step2 再インストールする」に進む。

Step2　再インストールする

1 次の画面が表示されたら、内容をよく読んで[次へ]をクリックする。
クリックは、液晶パッド（サブ画面）が表示されるまでできません。液晶パッドが表示されるまで、しばらくお待ちください。

ご参考

● **［キャンセル］を選択したときは**
［キャンセル］をクリックすると、パソコンが再起動します。また、リカバリー DVD を CD/DVD ドライブにセットしているときは、［キャンセル］をクリックした後にリカバリー DVD を取り出してください。

2 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。（オプション 1）」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

ハードディスク全体を復元したいときは

C ドライブだけでなく、D ドライブもご購入時の状態に戻したいときは、「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」を選択します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。この項目を選択するときは、次ページの**「ご注意」**もあわせてお読みください。

C ドライブのサイズを変更したいときは

C ドライブと D ドライブの容量を変更し、C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に戻したいときは、「C：ドライブと D：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択します。この項目を選択するときは、次ページの**「ご注意」**もあわせてお読みください。

ご注意

- ハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールする前にメモリーカードや USB メモリー、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- リカバリー DVD を使用してハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。ハードディスクからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

3 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、[リカバリー開始]をクリックする。
確認画面が表示されます。

C ドライブのサイズを変更するときは

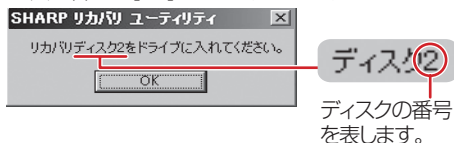
「C：ドライブと D：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択したときは下記手順に従って操作をしてください。
① ▼ ▲ で C ドライブの容量を設定し、［次へ］をクリックする。
② ［リカバリー開始］をクリックする。

4 [OK]をクリックする。
Cドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
- 再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください。

リカバリー DVD を使用するときは

途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、リカバリーディスクを入れ替え、［OK］をクリックします。

5 「リカバリーが完了しました。コンピューターを再起動します。」と表示されたら［再起動］をクリックする。
パソコンが再起動します。

6 次の「Step3 Windows をセットアップする」に進む。

Step3　Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

リカバリー DVD を使用したときは

「Windows のセットアップ」画面が表示されたら、リカバリー DVD を CD/DVD ドライブから取り出してください。

1 『**取扱説明書**』(付属の冊子)の**「Windows のセットアップ」**を参照してセットアップを完了する。

PC-NJ70Bの場合、これで再インストールは完了です。

リカバリー DVDを使用して再インストールしたときは、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。(☞72ページ)

PC-NJ80Bの場合、次の「Step4「Office Personal 2007」を再インストールする」に進みます。

Step4　「Office Personal 2007」を再インストールする(PC-NJ80B のみ)

ご参考

- 「Office Personal 2007」をインストールすると、日本語入力システム「IME 2007」も同時にインストールされます。

1 CD/DVD ドライブ(市販品)を接続する。
接続方法について詳しくは、CD/DVDドライブの説明書を参照してください。

2 CD/DVD ドライブに「Office Personal 2007」の CD-ROM をセットする。
「自動再生」画面が表示されます。

3 「SETUP.EXE の実行」をクリックする。
「Microsoft Office Personal 2007」画面が表示されます。

4 「Office Personal 2007」パッケージに付属している「スタートガイド」を参照してインストールする。

ご参考

- インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは［はい］をクリックします。
- 「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項」が表示されたら、内容をよく読み、同意される場合は「「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項」に同意します」をクリックし、［次へ］をクリックします。
  同意しないと、「Office Personal 2007」はインストールされません。

インストールの種類を選択する画面では

以下の手順に従ってください
①［ユーザー設定］をクリックする。
②「Microsoft Office」の左の をクリックし、「マイコンピューターからすべて実行」をクリックする。
③［今すぐインストール］をクリックする。

5 インストールが完了したら、CD/DVD ドライブから「Office Personal 2007」の CD-ROM を取り出す。

6 「Office Personal 2007」をアップデートする。

① （スタート）をクリックする。
②「プログラムとファイルの検索」欄に「c: ¥」と入力し、スタートメニューの「officeupdate」（または「Office Update」）をクリックする。
「OfficeUpdate」画面が表示されます。
③「Office2007-kb954711-fullfile-x86-glb-dvd2-p1」をダブルクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
④［はい］をクリックする。
「Microsoft Office 2007 Service Pack 2(SP2)Part1」画面に「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項」が表示されます。
⑤内容をよく読み、同意される場合は、「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックしてチェックマークを付ける。
⑥［次へ］をクリックする。
インストールの確認画面が表示されます。
⑦［はい］をクリックする。
Service Pack 2（SP2）のインストールが開始され、インストールが完了すると「このパッケージのインストールを完了するため再起動しますか？」と表示されます。
⑧［はい］をクリックする。
パソコンが再起動します。
⑨ （スタート）をクリックする。
⑩「プログラムとファイルの検索」欄に「c: ¥」と入力し、スタートメニューの「officeupdate」（または「Office Update」）をクリックする。
「OfficeUpdate」画面が表示されます。
⑪「Office-kb974164-fullfile-x86-ja-jp」をダブルクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
⑫［はい］をクリックする。
「Office (KB974164)の修正プログラム」画面に「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項」が表示されます。
⑬内容をよく読み、同意される場合は、「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックしてチェックマークを付ける。

⑭ [次へ] をクリックする。
修正プログラムのインストールが開始され、インストールが完了すると再起動の確認画面が表示されます。
⑮ [はい] をクリックする。
パソコンが再起動します。

7 使用するメールソフトを「Outlook 2007」に設定する。
① (スタート) をクリックし、「既定のプログラム」をクリックする。
「既定のプログラム」画面が表示されます。
②「既定のプログラムの設定」をクリックする。
③ プログラムの一覧から「Microsoft Office Outlook」をクリックし、「このプログラムを既定として設定する」をクリックする。
「Outlook 2007」が既定のメールソフトに設定されます。
④ [OK]をクリックする。
⑤ 画面右上の をクリックして「既定のプログラム」画面を閉じる。

ご参考

● **ライセンス認証ウィザードについて**
再インストール後、Office アプリケーションを起動すると、「Microsoft Office 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office 2007 ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、「Office Personal 2007」パッケージに付属の **「スタートガイド」** を参照してください。

これで再インストールは完了です。

リカバリー DVDを使用して再インストールしたときは、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。(☞下記)

セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

リカバリー DVD を使用して再インストールしたときは、下記手順に従って、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。
① (スタート) をクリックし、「シャットダウン」をクリックする。
② ランプ消灯後、約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、**【F2】**を押す。
セットアップユーティリティの画面が表示されます。
③ **【F9】** を押す。
④「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
⑤ **【F10】** を押す。
⑥「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
パソコンが再起動します。